



元気とタイムリーな情報を提供する

# 五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2026年05月18日 第1267「週刊五十嵐レポート」

## バイトより旅に出て

4月20日付朝日新聞、「内定者へ バイトより旅に出て」という記事。

佐賀共栄銀行が今春入行した新人に「旅行支援」としてお金を出した。内定期間中に1人20万円。アジアや欧州、関西などを旅行した9人はそれぞれ旅の成果を報告した。

佐賀共栄銀行では初の試み。頭取は「内定者に、入行するまでの約半年間に何をするか聞くと、そろって『バイト』と答えた。仕事はこれからたっぷりできるのに、もったいない」と考えた。

「人と会う、旅をする、本を読む」ことを通じて視野を広げ、豊かな価値観や柔軟な考え方を育ててほしいと旅行費20万円、本の購入費4500円を支給。

9人は事前に課題を設定して、旅に出た。佐賀市の本店で報告会があった。ベトナムへ旅行した人は、「様々な宗教、文化が共存し、その結果、分け隔てなくフレンドリーだと感じた。実際に現地で文化や人の営みに触れ、人を動かすには人同士のやりとりや会話が重要だと痛感した」。また「お客様、取引先などと囚われず、相手を尊重できる人間になりたい」と話した。

目まぐるしい経済成長を遂げている中で、実際の生活や暮らしはどうか知りたいとインドに行った人は、都市の観光地で最初に言われた金額より実際の請求が高額になる「ぼったくり」に遭遇したが、値引き交渉で被害額を抑えた。また、寝台列車でインド人と仲良くなったことを報告。「物おじしないメンタルなどを得ることができた」。

頭取は、「いろいろな世界に生きている人から学んでほしい。世界、あるいは地方を知り、初めて佐賀の位置づけを知ることも必ずある。これからの役に立ててほしい」と話した。

旅行はいろいろな発見がある。4月に大分県別府に行き、予想以上の活気を感じた。昨年中国深圳や香港へ行った時も、最新技術を目のあたりにした。6月に北京、8月に上海へ行く。自動運転タクシーに乗ったり、ヒト型ロボットを見学する。日本にいと気づかない先端技術を体験できる。でも一番は現地の友人と再会することである。

ちょっと  
気になる出来事

4月21日付日経新聞、B-Rサーティワンアイスクリームのジョン・キム社長のインタビュー。「サーティワンアイスクリーム」のロゴや店舗の内装を35年ぶりに全面刷新した。

サーティワンのブランドは今年で日本上陸から53年になる。日本では競合が少なく、市場シェアを奪われることはなかった。しかし変化を促す圧力がないという課題があった。同じことの継続では大きく成長できないと考え、ロゴや店舗内装を大幅に刷新した。

新しい顧客層として、飲み会後に、「締めアイス」としての需要がある。居酒屋の多い繁華街で店舗を開けば集客が見込める。オフィス街にも積極出店する。消費者の新たな食習慣や需要を掘り起こす。約1070店舗を運営しており、倍増を視野に入れている。

テイクアウトのアイスクリームと言えば、「サーティワン」しかない。私が十代のときからあった。確かに競合は見当たらない。アイスクリーム一業種で多角化はしていない。アイスクリームの食べ方で新たな市場を創造。参考になりますね。



一口メモ  
知識

## 政治の根本

国のような大きな組織でも、運営するには、互いの仕事に敬意を表し、信頼関係を築くことが基本だよ。

物を大切にし、人には愛情を注ぐこと。  
国民を動かすには、自分の都合ばかりを考えずに、  
国民の準備が整ったのを見計らって命じるのが秘訣だね。

孔子にとっては、家庭を営むのも、国を治めるのも同じことで、  
総ては日常生活の延長線上にあると考えていた。  
その日常生活の根本が個人同士の信頼関係である。

「高校生が感動した『論語』」(祥伝社新書/佐久協)より

- 「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時～12時
- 「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5  
TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

